

患者氏名：

経過 (日付)	入院前 (外来)	入院日 (手術前日)	手術当日		手術翌日	手術後2日目	手術後3～6日目	手術後7～9日目	手術後10日目	手術後11日目～	【退院予定日】	退院後 初回受診
	月 日		月 日	手術前								
到達目標	入院の目的が理解できる。	①手術の準備(必要書類の提出、必要物品の準備、手術用下着セット)ができる。 ②不明な点を看護師に質問できる。 ③手術後の状態がイメージできる。	①絶飲食時間を守ることができる。 ②朝の薬の内服時間・種類を守ることができる。 ③手術までに家族が病室で待機できる。	①安静時間や絶飲食を守ることができる。 ②痛いときに我慢せず看護師に伝えることができる。	①頓服を使用しながら足関節運動ができる。 ②禁忌肢位が理解できる。 ③痛いときには我慢せず看護師に伝える事ができる。	①禁忌肢位が理解できる。 ②禁忌肢位を守りながら離床ができる。 ③痛いときには我慢せず看護師に伝える事ができる。	①禁忌肢位を守りながら離床ができる。 ②脱臼しない。	①禁忌肢位を守りながら離床ができる。 ②脱臼しない。	①禁忌肢位を守りながら離床ができる。 ②手術後の創に膿や出血がない。	①禁忌肢位を守りながらシャワー浴を行う事ができる。 ②禁忌肢位を守りながら離床ができる。 ③退院後の生活のイメージができる。	【退院の目処】 ①退院後の注意点が分かる。	
治療・処置	お薬を飲まれている方はお薬手帳を確認させていただきます。医師から中止と言われた薬は内服しないでください。術後に装着する装具を作ります。	麻酔科の診察 受診後に麻酔同意書に署名し提出していただきます。 手術する足に印をします。	【手術前に行うこと】 ・点滴 ・内服薬のある方は指示に従う。 ・手術着・フリーパンツに着替え 手術室へはストレッチャーで行きます。	点滴があります。 酸素マスクをつけます。 創部に排液用のドレーンが入っていますので、挿入部を触ったり引っ張ったりしないで下さい。 痛みは我慢せずお声掛け下さい。	抗生剤の点滴があります。 食事が食べられれば持続点滴が終了します。 創部の観察を行います。 	抗生剤の点滴があります。			創部に異常がなければ術後10日目に看護師が創部に貼っているテープを剥がし、創部の観察を行います。			☆☆退院日 退院後の受診後 初回まで に異常 を感じ ました ら受診 日を待 たずに 受診し てくだ さい。
検査	術前検査(採血・尿検査・レントゲン・心電図・肺機能検査等)があります。	必要時、主治医より検査の指示が出る場合があります。			貧血や感染徴候などの確認のため、早期に採血があります。	貧血や感染徴候などの確認のため採血があります。(3日目 /)(7日目 /)(10日目 /)(14日目 /) レントゲンが 7日目と14日目にあります。						
安静		制限はありません。	制限はありませんが、病室内で待機して下さい。	ベッドの上で過ごします。 身体の向きを変えたいときは、必ず看護師が支援しますのでお呼び下さい。	枕を使用した側臥位やベッド上起坐を始めます。	安静の制限はありません。リハビリの進行状況に合わせて離床を行います。 ベッドに座ったり、足を垂らして座ることから始めます。  看護師の介助・見守りの下での移動になりますので、移動の際には看護師にお知らせください。歩行時は必ず運動靴(踵を覆うタイプの履物)を履いて下さい。		状態により院内歩行始めます。	リハビリの状況に応じて1本杖での歩行練習を始めます。 階段の上り降りの練習を始めます。			
食事	夕食までは食事を準備しています。 それ以降の食事・水分摂取については麻酔科医師の指示が出るので指示に従っていただきます。	夕食までは食事を準備しています。 それ以降の食事・水分摂取については麻酔科医師の指示が出るので指示に従っていただきます。	水分摂取は指示された時間まで可能です。 絶飲食中でも、喉が渇いた時にはうがいをしてもかまいません。	水分摂取は指示があるまでできません。 食事は、絶食で翌朝まで食べることができません。  	朝食から食事再開(吐き気を感じた場合は、看護師にお知らせ下さい) 安静のため下膳は支援します。 	並食が出ている方は制限はありませんが、並食以外の治療食が出ている方は間食などに制限が必要な場合がありますので看護師にお尋ね下さい。 安静のため下膳は支援します。						
排泄	病棟もしくは病室のトイレをご利用下さい。 手術時間に合わせて洗滌を行います	手術に出棟する前にトイレを済ませて下さい。	尿管が入っています。 排便はテープ式おむつ・便器を使用してベッド上で行なうようになります。		リハビリの実施状況や希望を踏まえて尿管を抜きます。尿管が抜けたら、トイレまたは尿器を使用していただきます。 担当治療士からの許可が得るまでは、移動は看護師の介助・見守りになります。移動の際には看護師にお知らせ下さい。							
清潔	シャワーに入ってください。 マニキュアをつけている方は落として下さい。	手術室入り口で専用の帽子をかぶっていただきます。 義歯や装飾品(指輪、コンタクト、メガネ、ヘアピン)などすべてお部屋ではずしていきます。	必要があれば、看護師が洗面やうがいをお手伝いします。	看護師が着替えや体を拭くお手伝いをします。	体拭き、洗髪を行います。頻度に関しては看護師とご相談ください。 			傷の状態に問題がなければ翌日シャワー浴となります。	シャワー浴を行います。 			
リハビリ	主治医よりリハビリについて説明があります。 後日、リハビリ療法士の診察があります。	術後リハビリと禁忌肢位について説明します。	術前に指導していた床上リハビリを出来る範囲で実施して下さい。	術前に指導していた床上リハビリを出来る範囲で実施して下さい。	術前に指導していた床上リハビリを出来る範囲で実施して下さい。	疼痛・リハビリの進行状況に合わせて歩行練習が開始になります。使用している歩行補助具の種類が変更になる毎に、担当療法士からの許可があるまでは1人での歩行をしないようにして下さい。				退院後もリハビリは継続して下さい。		
説明	・主治医の診察および手術説明があります。 ・看護師から手術前説明があります。 ・入院担当事務から入院手続きに関する説明があります。 ・術前外来受診があります。(看護師より入院前生活情報についての聞き取りがあります) ・術前歯科受診があります。	担当看護師が、今後の入院生活について説明します。 手術の準備物品について、看護師がご説明いたします。 【手術を受けられる患者さんのご家族の方へ】の説明	【手術を受けられる患者さんのご家族の方へ】参照 分からないことは看護師にお尋ねください。  	主治医より手術結果の説明があります。ご家族は呼ばれましたら手術室の説明室で説明を聞いて下さい。  	日常生活動作や禁忌肢位について説明を行います。 病状や治療に関する説明は、必要時に主治医が行ないます。 【術後合併症への注意】 ★創感染(傷に直接触れたり絆創膏をはがしたりしないでください) ★疼痛(痛みが強いときは我慢せずに教えてください) ★神経麻痺(しびれや麻痺があれば教えてください) ★肺塞栓・深部静脈血栓症(足首の運動をしましょう。水分を多く取りましょう) ★転倒(許可が出るまで看護師と一緒に歩きます) ★循環動態変動(身体に異常を感じた場合や気分が優れない時はすぐに知らせてください)	入浴動作の方法はリハビリ担当より説明します。 ●術後10日目ころから、退院に向けた支援を本人やご家族と相談させてください。看護師・リハビリ療法士とで検討させていただきますが、場合によってはMSW(医療相談スタッフ)とも検討させていただきます。 予定日時： 月 日() ()時～ 	主治医が記載した「退院療養計画書」に沿って、看護師が次回受診や退院後の生活に関する注意点を説明します。					

※今回の入院につきまして現時点での診療計画は以上の通りです。なお、この説明は現在の病状から予測される範囲のものです。
※状況に応じて予定が変更になる場合があります。ご不明な点がございましたらいつでもお尋ねください。